

2026年2月10日(火)

≪ 今日の主なニュース ≫

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆1月企業倒産、6%増の887件 原材料・人件費高で小売業苦戦

・東京商工リサーチが発表した1月の全国の企業倒産件数(負債額1000万円以上)は前年同月比6%増の887件だった。1月としては4年連続で前年を上回り、13年ぶりの高水準になった。物価高が進み、原材料費や人件費の上昇の影響を受けやすい小売業やサービス業の倒産が目立っている。

◆実質賃金4年連続マイナス、2025年1.3%減 賃上げが物価に及ばず

・厚生労働省が発表した2025年の毎月勤労統計調査(速報、従業員5人以上)によると、物価変動の影響を除いた実質賃金は前年から1.3%減った。マイナスは4年連続。産業界で高水準の賃上げが続き名目賃金は2.3%増えたものの、コメ価格の高騰などを要因とする物価上昇に追いつかなかった。

◆2025年の経常黒字11%増、2年連続で過去最高 海外投資が寄与

・財務省が発表した2025年の国際収支統計(速報)によると、海外とのモノやサービスの取引状況を示す経常収支は31兆8799億円の黒字だった。黒字額は前年比で11.1%増え、2年連続で過去最高を更新した。企業の海外投資からの収益が押し上げた。貿易赤字が縮小したことでも大きかった。

≪ 業界ニュース ≫

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆ダイキン、北海道でも「ドブ板営業」 灯油業者をエアコン販売店に

・ダイキン工業が北海道でエアコンの暖房需要を開拓する。寒さが厳しい地域では灯油ストーブが普及しているが、エアコンの性能向上や光熱費の優位性を訴える。施工業者の不足に対応するため、灯油販売業者にエアコンの取り扱いを働きかける。地元業者を巻き込む得意の「ドブ板営業」を展開する。

◆2026年1月の建設業DI、前月から悪化 TDB調査

・帝国データバンクが公表した2026年1月の「景気動向調査」によると、建設業の景気DIは47.4(前月比0.7ポイント減)で前月から悪化した。国内全体の景気DIも43.8(前月比0.6ポイント減)と8カ月ぶりに悪化。国の予算成立の遅れに対する懸念が企業から多く聞かれ、公共工事を中心に先行き不透明感が高まっていることが明らかに。

◆送電網への蓄電池接続、契約保証金を2倍に 空押さえ防止へ経産省

・経済産業省は送電網につなぐ蓄電池の契約申込時の保証金の割合を4月から2倍に引き上げる方針を示した。再生可能エネルギーの普及に伴い、接続申し込みが増えている。事業の実現性が低いにもかかわらず接続の権利を得る「空押さえ」を防ぐ。経産省の認可法人である電力広域的運営推進機関が申込時のルールを見直す。

≪ 注目商品 ≫

■パナソニックバスルーム、微細気泡による保湿・美髪の新提案

・入浴で全身の保湿ケアをする新提案として「Panasonic BATHROOM "Beauty care style"(パナソニックバスルーム ビューティケアスタイル)」を開始。浴槽内には「オイルヴェール酸素美泡湯」を搭載。専用の「美泡湯オイル」を約10μmに微粒化し、微細気泡とあわせてお湯に含ませる。



■アイカ工業、浴室・水廻り用化粧板の新柄4点

・軽量でカッターでも簡単にカットできる浴室・水廻り用の壁面パネルに新柄4点を追加し計43点にラインナップ拡充。極限まで光沢を抑えたマット感とドライな手触り感で上質な空間を演出する「IMPACT MATTE(インパクトマット)」には、グレーカラーのモルタル調と石目調の2点を品揃え。



■タカショーが総合力タログ2026、対談「庭の力と緑の力」を収録

・住宅・非住宅の屋外空間づくりに携わるプロユーザー向けのガーデンエクステリア総合力タログ『PROEX(プロエクス)2026~2027上期』を発刊。特集対談「庭の力と緑の力」では、同社代表の高岡伸夫氏と森ビルの清水一史氏が、緑と人との関係について語り合った。

